

2007年10月12日

国土交通省近畿地方整備局 様  
淀川水系流域委員会 様

宇治・世界遺産を守る会  
藪田秀雄

## 淀川水系河川整備計画原案 天ヶ瀬ダム再開発事業における環境対策等についての意見・質問

1、琵琶湖後期放流に伴う天ヶ瀬ダム 1,500 m<sup>3</sup>/s 放流は、高水位・長期間の洪水流下であるために下流の河川環境に大きな影響を与えられとされる。

第64回委員会審議資料1-3-1「天ヶ瀬ダム再開発事業における環境対策等」のパワーポイント13「3、今後の方針」で、下流河川環境への再開発後の運用に関する影響調査はまったくこれからである。調査項目も・底質、・生物があるだけで、しかもトンネル放流口から流況が安定する範囲と極めて限定的な調査しか予定していない。これは問題である。

①天ヶ瀬ダム 1,500 m<sup>3</sup>/s 放流の影響が及ぶ下流宇治川全域において河川環境への影響調査・予測がなされるべきであると考え。

②河川形状、水質（ダム湖のヘドロ、堆積土砂の流下はないのか）、土砂移動、生物の生息・生育環境、景観などへの影響について影響調査・検討すべきであると考え。

2、トンネル放水口からの放流に伴う低周波音の影響調査を行う予定とあるが、全国に同規模の放流方式を取っているところがあるのかどうか、規模が小さいところがあるのかどうか、またその低周波音の影響はどうなのか、具体的に説明されたい。

3、天ヶ瀬ダム左岸に大トンネルの放流施設を設けることで安全性に問題ないのか、説明されたい。

以上